

# 中島 啓 (ナカジマ ヒラク)

(NAKAJIMA Hiraku)



生 年 1962年

現 職 京都大学大学院理学研究科 教授  
(Professor, Graduate School of Science, Kyoto University)

専 門 分 野 幾何学と表現論

略 歴 1985年 東京大学理学部卒  
1987年 東京大学大学院理学系研究科修士課程修了  
1987年 東京大学理学部助手  
1991年 理学博士の学位取得(東京大学)  
1992年 東北大学理学部助教授  
1995年 東京大学大学院数理科学研究科助教授  
1997年 京都大学大学院理学研究科助教授  
2000年 京都大学大学院理学研究科教授(現在に至る)

## 授 賞 理 由

「幾何学的表現論の新展開」

(Revolutionary Development of Geometric Representation Theory)

中島啓氏の業績は、無限個のモジュライ空間(図形のなす集合を幾何学的対象と見なしたものを)を同時に使って、無限次元リー環などの表現を、背景にある概念、構造が明らかになる形で構成し、解明するもので、幾何学的表現論に新たな展開をもたらした。

同氏の研究は、籓(えびら)多様体やヒルベルト概型などの研究に基づいており、現代幾何学の発展の中心部分に位置すると同時に、場の量子論と深く結びついている。それにもとづき同氏は、量子アフィン環とよばれる無限次元の代数の表現論における深い結果を示している(表現論とは群などを行列で表す理論をいう)。同氏は、超弦理論の最近の発展の中で重要な役割を果たしており、ネクラソフ予想(ゲージ理論の双対性の数学的検証の一つ)の解決も重要な業績である。

これらの研究により同氏は幾何学的表現論の世界的な指導者として、国際的に高く評価され、現在も活発に活動しており、今後のより一層の発展が期待される。